

令和7年度 紫波総合学校教職員 働き方改革アクションプラン

～質の高い教育の持続的提供のために～

紫波総合高等学校では、「岩手県教職員働き方改革プラン(2024～2026)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現 状

【定量的現状】

- ◆ 「岩手県教職員働き方改革プラン(2024～2026)」目標達成状況
時間外在校等時間が月80時間以上の者
・R4年度:0人、R5年度:3人(延べ4人)、R6年度:0人
- ◆ 教職員一人当たりの平均時間外在校等時間
・R4年度:20.6時間、R5年度:18.9時間、R6年度:17.7時間
- ◆ 年次休暇の取得状況について(年間一人当たりの平均取得日数)
・R4年:14.1日、R5年:17.8日、R6年度:17.3日

【定性的現状】

- 教職員の意識
・休暇取得推進の取組が全教職員に徹底されている。
・時間外勤務している教職員が固定している。
- 管理職のマネジメント
・スクラップ&ビルドの視点を持って業務見直し等の対応を行っている。

2 目標・目指す姿

県の働き方改革プランの目標を前提に、以下の目標を設定します。

【学校独自の目標】

- 教職員一人当たりの平均時間外在校等時間を20時間とすることを目指します。
- 年次休暇の平均取得日数を17日にします。

【目指す姿】

- 教職員一人一人が、ワークライフバランス(仕事と家庭生活の調和)の実践を意識し、教育活動に取り組んでいる。
- 生徒指導や教科指導などの在り方について、計画的かつ効率的に仕事が進められるよう、日頃から教職員間で共有している。
- 主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、教材研究を深める時間が教職員に十分に確保されている。

3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

(1)	教職員の健康管理	<ul style="list-style-type: none">・ 管理職が休暇を取得しやすい職場環境づくりに努めます。・ 月の時間外在校等時間が月途中で60時間超となった教職員に声掛けし、健康確保の観点から、面談等を行います。
(2)	学校における業務改善の推進	<ul style="list-style-type: none">・ 各分掌の業務内容について、教育において真に必要な観点から見直しを進めます。・ 外部のリソースの活用を検討しながら、業務分担の見直しを行います。
(3)	業務の明確化・適正化の推進	<ul style="list-style-type: none">・ 働き方改革の取組について、保護者や地域の方に理解いただけるよう情報発信をします。・ 休日の部活動については、休養日を必ず設ける等の取組を推進します。
令和7年度 重点取組事項		<ul style="list-style-type: none">・ 業務の効率化を図るため、ICT機器の活用に向けた研修の充実に取り組みます。

4 アクションプランの周知方法

- ・ 本プランを学校のHPに掲載するとともに、職員会議等により教職員に周知します。
- ・ 学校運営協議会やPTA等を通じて、地域・保護者に対して本プランの内容の説明を行います。